

第4期草津市地域福祉計画策定に向けた主要な課題等について

本計画策定においては、前期計画の評価、アンケート調査、ワークショップの実施等を経て市民のニーズ等を把握し、課題の整理を行った上で、現在、次期計画の骨子・素案等の検討を行っているところです。

今回は、前期計画の評価内容を通して見えてきた主要な課題等について、御報告をさせていただくものです。

■第3期草津市地域福祉計画の評価と地域福祉を取り巻く現状等

第3期草津市地域福祉計画の評価(成果と課題)

重点プログラム1：地域の中で活動する人をひろげます。

【成果】地域ボランティアやリーダー育成等の支援

【課題】地域活動者のさらなる拡大

重点プログラム2：住民同士の暮らしに根ざした交流を深めます。

【成果】住民同士の交流の場や機会の提供

【課題】社会参加・活動の場の充実等さらなるきっかけづくり

重点プログラム3：地域包括ケアシステムの構築に向けた仕組みづくりを進めます。

【成果】介護・医療間の連携を図り介護予防を推進

【課題】あらゆる住民を対象にした地域包括ケアシステムの深化

重点プログラム4：生活困窮者の暮らしを守り、災害への備えを進めます。

【成果】福祉の総合相談窓口の開設や防災活動への支援

【課題】包括的な相談支援の実施や災害・感染症への備え

重点プログラム5：地域共生社会の実現に向けた取組を進めます。

【成果】相談支援・ネットワークづくり・就労支援等

【課題】地域共生社会に向けた総合的な地域福祉の検討

第4期草津市地域福祉計画策定アンケート

実施目的：福祉現場の現状等の把握

実施期間：令和2年6月19日（金）～令和2年7月3日（金）

内容：福祉関係者約700人に対し、活動実態や地域課題等の調査を実施。

第4期草津市地域福祉計画策定ワークショップ

実施目的：市民や福祉関係者との意見交換等を通じた課題や方向性等の検討

実施時期：①令和2年7月13日（月）18:30、②令和2年7月14日（火）18:30

内容：多分野共通の取組事項や複合的な課題を抱える家族への対応策等のケーススタディを通してグループワークを実施。

■第4期草津市地域福祉計画に向けた主要課題及び計画骨子等の検討

主要な課題（案）

1. 性別や年齢にとられない地域活動への参加促進、活動団体相互の交流の促進等により、地域で活動する人をさらに広げる必要があります。

2. 住民同士の良好な関係を築くための機会や社会参加・サロン活動等の場の充実など、さらなるきっかけづくりが必要です。

3. 地域共生社会の理念に基づき、どのような相談内容であっても受け止めて支援へとつなぐ「包括的な相談支援」体制の構築、また、交流・参加の機会を生み出すコーディネート・支援機能の強化等、総合的な地域福祉について検討していく必要があります。

4. 今後の独居高齢者等の増加に対応するため、災害時の支援体制を一層強化する必要があるとともに、感染症への備えを進める必要があります。

第4期草津市地域福祉計画における
計画骨子・素案の検討